

2014年9月15日

団体会員 各位
個人会員 各位

一般財団法人 日本労働会館
労使関係研究協会
会長 小出 幸男



会員交流誌「きずな12号」への寄稿のお願い

日頃から労使関係研究協会（労使研）の活動に対しご協力をいただいておりますこと、御礼申し上げます。

「きずな」は労使研会員各位の交流を一層充実させることを目的に、平成18年の発刊以来、今年で12号をむかえることとなりました。掲載内容は、会員の自由なエッセーの発表や、紙面を通じた意見交換など、ジャンルを問わない内容としております。積極的なご寄稿をいただければ幸いです。また、原稿に関する写真や資料を掲載することも会員に喜ばれており、貴重なものとなりますので、この点もご協力の程、宜しく申し上げます。

なお、第12号は2014年12月の発行を予定しております。下記寄稿要領を一読の上、奮って原稿をお寄せ下さい。

記

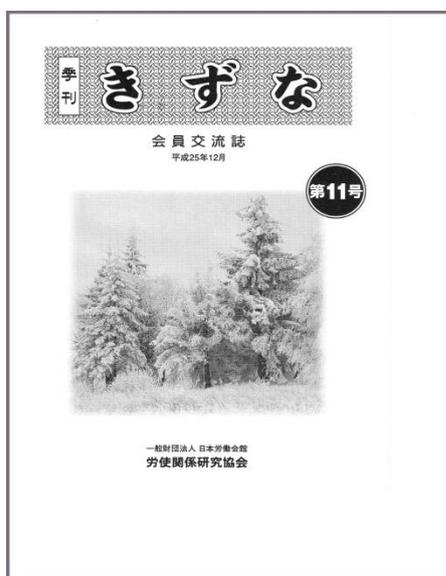
- ◇執筆内容 従来通り、特にテーマは定めません。労使関係、労働分野はもとより、政治、経済、社会、文化、紀行等、ジャンルを問いません。
- ◇字 数 原則として1,200文字（1ページ分）または2,400文字（2ページ分）の二通りとしていますが、選択は自由とします。
- ◇原稿締切 2014年11月14日（金）
- ◇送付先 労使関係研究協会（電話番号：03-3453-5386） 担当 滑川太一
- ①電子メール
roshiken@rodokaikan.org
- ②郵送あるいはFAX
〒105-0014 東京都港区芝 2-20-12 友愛会館 8階
FAX：03-3451-1710

◇その他

- ①団体会員の場合は、会員組織名と併せて執筆者のお名前、役職名もお知らせ下さい。
- ②原稿と関係のある写真（デジタルカメラも可、電子メールによる配信をお願いします）や資料、挿絵、執筆者の顔写真等も是非お寄せ下さい。
- ③連載形式も歓迎しますので、その旨一筆お書き下さい。
- ④ご寄稿いただいた方には、一編単位で薄謝を進呈させていただきます。

以上

【昨年発刊した「きずな 11号」】



<目次>

- I 意見
 - 万能ではないアベノミックス 田中けいしゅう
 - 多様性の中の和合 中條藏實
 - 記憶の不思議な働き 鈴木三津子
 - 無題 深澤準一
 - 駅の中・韓語看板、すぐに撤去せよ 高畑和夫
- II 思うことなど
 - 歴史から学ぶということ
 - ー「八重の桜」が教導してくれた今日の意味 中條藏実
 - “第二の人生を旅する者のコミュニケーション④
 - 人々の“団らん”がヒューマンチェーンを拓ける 西田了
 - ローマの滅亡から日本を見れば 新井洋
 - 囲碁は道という 新井洋
 - バテレン祭りと細川さん 山口義男
 - みんな元気で健やかに！ 小林弘之
 - 吉田忠雄先生からの電話 寺井融
- III 友愛労働歴史館だより
 - 惟一館から新友愛会館目での 120 年の変遷 間宮悠紀雄
- IV 友愛会館だより
 - 思いは、次の 50 年 小林弘之
- V 編集後記